

日本SOD研究会報

発行元 日本SOD研究会 藤沢
住 所 〒154-0012
東京都世田谷区
駒沢 5-13-1-205
TEL. 03-5787-3498
<http://www.sod-jpn.org/>

愛飲者の質問に答えます

**被爆によるC型肝炎
ピロリ菌除去で胃がんは？
SODは脳関門も通過する**

◆ 質問2 飲み物をとらないでSODを食べると舌や口の中がピリピリします。SODの原材料と何か関係があるのでしょうか。

「唾液の少ない人がSODを食べると、口の中の粘膜などにSODがくっつくから、それでピリピリするんです。胃の調子が悪いとか、胃下垂などの状態だと唾液が少なくなる。だから胃の調子が回復して唾液が出るようになったら解決します。唾液の量というのは健康と密接な関係にあります。SODを飲み続ければ唾液もおのずと出

るようになりますから続けるように」

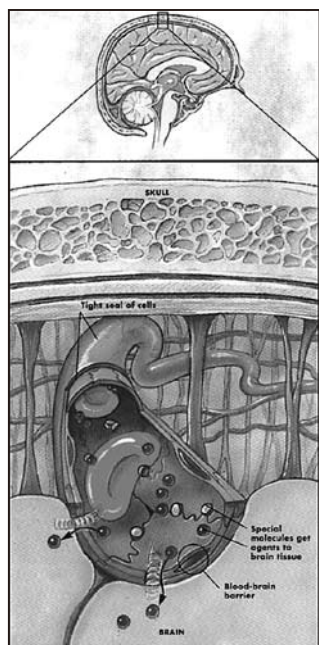
◇質問3 ピロリ菌の除菌で胃がんが予防されると言われていますが、本当でしょうか。

「ピロリ菌の除菌で胃潰瘍は治せるし、予防もできるけど、それで胃がんにならないかと言われると、そこまでは言えません。ピロリ菌の除菌で胃がんが予防できるとまで言っちゃいけない。確かに、不摂生で暴飲暴食し、胃潰瘍を繰り返しているような人はたまに胃がんになります。そういう人はがん予防になるかもしれませんが、ピロリ菌除去だけで胃がんは防げない。でも、ピロリ菌の除去は胃潰瘍にはとても有効で、おかげでいまや胃潰瘍で手術をしなくても良くなりました。これは薬で除去できます。保険適用外だけれど、1週間飲めばいいだけだから、4万円くらいでできます。しかし、これでがん予防ができたと安心しないように。胃潰瘍を繰り返して、

がんになるのが時々ある。そういう人には効きます」と

◇質問4 SODは脳関門を通過するかどうか

この質問に関しては、専門的なので症状についての簡単な説明をしておきます。



脳関門のイメージ

血液中の不要物を脳内に簡単に通さない仕組みがある

copy rights
University of Manchester

まず、脳関門というものについてです。血液と脳の間には、血液脳関門と呼ばれるバリア、関所のようなものがあります。これは血液中の物質を簡単には脳に通さない仕組みになっているのです。脳以外の組織では、毛細血管の内壁を構成する内皮細胞と呼ばれる細胞を介したり、あるいは内皮細胞の間をぬって物質が運ばれます。ところが、脳内の毛細血管では内皮細胞の隙間がうんと狭く、ものが通りにくくなっています。そのうえ脳では血管の外側をグリア細胞と呼ばれる数多くの細胞が取り込んだ構造になっているので、物質の通過を防いでいます。

つまり、脳に障害が起きたとき、薬、抗がん剤等が効力を発揮でき

ないということなのです。

「SODは脳関門を通過します。ものすごい実例があります。これは私の友人で某大病院の教授の患者さんの話です。その患者さんはパーキンソン病（注1）の末期のでした。この病気は末期になると脳にくるんです。全身の血管がやられて、脳にもきて意識障害になって、もうなすすべなしの状態。病室に家族や親戚を呼んで、最後のお別れをするように言ったんです。それくらいにもやることなくなくなってしまったわけだ。その教授は仕方ないから、ダメもとでSODを水で溶いて鼻から流し入れたんです。それも100包余りを24時間かけてゆっくりと流し入れたんです。周囲では家族が集まって葬式の準備している中、SODをやっていたわけです。そうしたら24時間後、その患者さんがいきなりベッドからパキッと起き上がって、スタスタと歩いて食堂に行き、ご飯を食べて戻ってきたんです。本人、

2週間も意識不明だったなんて自覚がなかったらしいです。そりゃ周囲はびっくりですよ。念仏をあげようと思って来たんだから。これは脳のバリアをSODが抜けて入ったから、脳の炎症がなくなっただんです。以来その教授はSODを欠かさずに飲んでますよ。だから脳関門にはSOD。油剤化しているから関門を通過するんです」

注1 ベーチェット病

ベーチェット病は厚生省の特定疾患医療に認定されており、世界的にみると、シルクロードに沿った地域に発症していることから、シルクロード病とも言われています。現在では膠原病の一種とされ、20代後半〜40代に多くみられます。

主に目、皮膚、粘膜に急性に炎症をおこし、繰り返しながら慢性化し、腸管、血管、神経に症状があらわれる場合は生命に関わることもあります。原因は不明ですが、患者の多くがHLA B―51という

組織性抗原をもっていることがわかっており、何らかの関与があると考えられています。

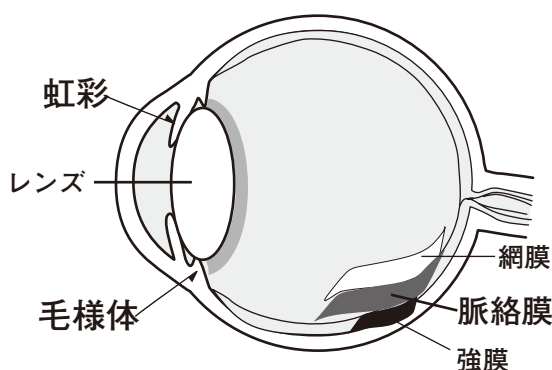
症状は、アフタ性口内炎といつて口腔内の粘膜に1〜数個の潰瘍（かいよう）ができます。潰瘍の周りは赤くな



り、痛みを伴います。小さいものは一週間ほどで治りますが、再発するのが特徴です。さらに発疹が出ます。結節性紅斑（下肢に赤い発疹（紅斑）ができて、患部にしこりがある。）や発疹ができて、血栓性静脈炎をおこします。目の炎

症もあります。

虹彩毛様体炎、ぶどう膜炎などの炎症がおこり、進行すると視力の



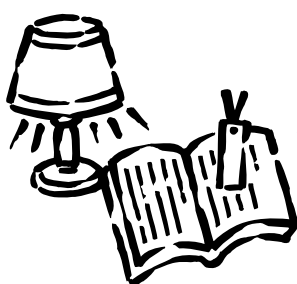
虹彩と毛様体、脈絡膜をまとめてぶどう膜といい、眼球全体を包む膜で、ここに炎症が起きた状態がぶどう膜炎

低下が進み、失明に至ります。外陰部の潰瘍ができることもあります。外陰部に痛みを伴う潰瘍ができ、1ヶ月ほどで自然に治ります。

※上記症状の4つに当てはまる場合は「完全型」、3つ以下の場合には「不完全型」といいます。

副症状としては関節炎、副睾丸炎（男性の場合、睾丸の上にある副睾丸に炎症をおこし、腫れや痛みがあります）、腸管病変（消化管

におこる病変で、特に小腸と大腸のつなぎ目である回盲部に潰瘍が多発し、腹痛や出血があります）、血管病変・血管ベーチェット（動脈・静脈に炎症がおこり、動脈の場合は動脈瘤をおこし、静脈の場合は血栓をつくって閉塞をおこします）、神経病変・神経ベーチェット（中枢神経が冒され、良くなったり悪くなったりを繰り返しながら進行していきます。頭痛や運動麻痺に加えて、精神症状があらわれます）などがあります。



◆丹羽先生診察ご希望の方は御紹介、御予約いたします。

※自由診療となります。

丹羽メディカル研究所

☎0120(731)175

もしくは

日本SOD研究会

☎03(5787)3498

まで お電話ください。

SOD愛飲者
インタビュー

8年も患った膠原病 たった4ヶ月のSOD愛飲で うそのように治まった

岡山県 東山美都子さん（59歳）

東山さんが膠原病を発症して今年で8年になります。

膠原病と書いて「こうげんびょう」と読む病気は、明確な原因が分かっていない難病のひとつです。30代から50代かけて主に女性が発病しやすい病気です。人間の身体は様々な細胞が組み合わさってできています。その細胞同士を結びつけ、臓器の強度を保つ働きをしているのが結合組織です。これは皮膚、関節、筋肉、血管など全身のいたるところにあります。その結合組織に病変が生じたものを総称して膠原病と呼んでいます。

病変が生じた場所で分類すると、内臓は「全身性エリテマトーデス」。関節は「慢性関節リウマチ」。皮膚、筋肉は「強皮症・多発性筋炎・皮

膚筋炎」。血管は「結節性多発動脈炎・血管炎症候群」などです。

また、本来なら異物から身体を守るはずの免疫システムが正常に働かず、自分の身体を攻撃する抗体を作る事が原因とも考えられているため、自己免疫疾患とも呼ばれています。

東山さんの場合は、皮膚の異常からくる強皮症でした。（注1強皮症の症状について）岡山市で44年も美容院を営んでいる彼女がおかしいなと感じたのは10年ほど前からのこと。

「最初は更年期でした。48歳くらいから動悸、不眠、うつ病など、更年期のすべての症状が出て大変だったんです。それが最終的には膠原病になったんです。左手の人

差し指が腫れて動かしにくくなり、そのうち曲げられなくらいぱんぱんに腫れました。病院に行ったら強皮症だと言われ、飲み薬をもらったんですが、ぜんぜん良くならない。そしてとうとう手首が硬くなり、痛み始めたんです」

美容師という仕事をしているなかで、手、手首、腕に支障をきたすことは致命傷ともいえます。それでも痛みに耐え、動かしにくい手をかばいながら仕事を続ける毎日だったと言います。

「2年くらい前から、もう痛くてどうにもならなくなりました。したら病院の先生が、症状がリウマチに移行し始めたのでエンブレルという痛み止めの皮下注射を勧めてくれて始めたんです」

このエンブレルに関しては、会報124号の丹羽先生のインタビューのなかでも触れられています。リウマチによく効く新薬が出たけれど、副作用は大丈夫かどうかといった愛飲者の方からの質問

に対して先生の話をうかがったものです。ここで再度、そのときの先生のコメントを紹介しておきましょう。

リウマチの痛みを取る新薬、エンブレルとレミケード、ヒュミラの3つ。これらはものすごく効くけれど恐ろしい薬ですよ。なかでもエンブレルは自宅で皮下注射できるから医者手間が省けるからどんどん使う。これらはサイトカインといって、免疫系の調節、炎症反応の調節、抗腫瘍作用、細胞増殖、分化、抑制といった生体の恒常性維持に重要な役割を果たす物質で、とにかくなんでも抑える人間の結成因子があるんだ。新薬はそこを叩くんだ。ばい菌がきたらそれに向かっていってくれる、熱や痛み、腫れにも向かっていくてくれる。いろんなものをコントロールしてくれる因子なんだ。しかし、新薬はそこを叩くから、確かに痛みや腫れは引くけれど、代わりにはいい菌に対する抵抗力も叩

く。今、この薬で100人に3人、肺炎になる。他にも免疫系の病気になる可能性は高い。危ないぞ。いつも言っているがリウマチというのは命を取らない病気なんだ。がん、SLEや命を取る種類の膠原病ならば危険な治療も仕方ない。

しかし、リウマチは命を取らないのに、他の危険な病気になるリスクを高める薬を飲んではいけないんだ。本末転倒なんだ。効く薬であればあるほど、必ず他の部分を攻撃しているということを認識してほしい。そのうえ、この薬たちはえらく高額でしょ。医者もよくこんなものを使うものだ。私は大嫌いなんだ。とにかく、ステロイドどころじゃない。世紀末的な薬だ。

東山さんの症状の場合、膠原病とはいっても強皮症ですから、直接、命に関わることはありません。ですから本来はこのような強い注射は考えなければならぬでしょう。でも、今の西洋医学ではそれに代わる薬がありません。(注

2 西洋医学による強皮症の治療法)

「副作用のことなど考えもしませんでした。なにしろ病院の先生がいとおっしゃるんですから。確かに痛みも取れましたから。でも、腫れや腕、手首のつっぱるようなこわばりはほとんどなくなりました。おまけに高額なんです。一回5千円の注射を月に8回。月に4万円は大変」

そんな東山さんがSODと出会ったのは

「実は、数年前に会報を送ってもらったことがあったんです。それを読んで、これはいいかもしれないと頭にひっかかっていたんです。実際、そのとき、1箱だけ購入して飲んだんです。でも、これといった効果を感じることができなかったんですね。思い返すと、そのときは1日に1、2袋ずつしか飲まなかったかもしれません」

確かに、効果には年齢や個人差も関係していると思いますが、1

日に1、2袋というのは健康な方が健康維持のために飲む量かもしれません。そして彼女の中からSODの名前はしばらく消えていたのです。それが今年の春、たまたま送られてきた会報を目にして、急にひらめいたそうです。

「会報を読んでいるうちに、もう一度やってみようかなって。やはり病院の痛み止めを常用するのは良くないんじゃないかって。高いし、腫れやこわばりはあまり良くならないし」

そして再開したSOD飲用。今度は試しに1日に3包飲んでみました。そしたら

「飲んだ翌日に突っ張り感がなくなりました。もう、びっくりでいた。翌日です。もう、飲み続けているうちにどんどん症状が楽になっていったんです。ばんばんに腫れてつまむことなんかとうていできなかった指の皮膚がつまめるくらいになったんです。なににより手首のこわばりがなくなり、ほ

んとくに助かりました。ですからエンブレル注射は今では2週間に1回だけになっています。病院の先生が2週に一回では効果がないとおっしゃるんです。でも私は本当はやめてもいいんじゃないかと思っているんです」

今年の5月からSODを飲み始めてたつたの4ヶ月。そんな短期間で効果を実感された東山さん。聞けば子供の頃、小児結核を患い、体育の授業に出た記憶がないくらい虚弱体質だったとか。だから健康には特に気を使ってきたそうです。ビタミンサプリは欠かさず飲み、食事や気候の変化には気を使ったりしてきました。そうしてきたからこそSODも早くに効果を発揮したのかもしれない。

「今まで仕事をしていても何をしていても手に神経がいていたんですが、それがなくなり、心から開放された気分です。手を使う仕事ですから、本当に助かりました。まだまだあと10年は現役でいたい

ので、SODは欠かせません。感謝です」

そんな10年と言わず、20年、30年と現役でいらしてください。SODはいつまでも東山さんの健康をサポートしていきます。ありがとうございました。

・・・・・・・・・・・・・・・・

注1 強皮症の症状（Yahooヘルスケア 家庭の医学より）

この病気の症状は、最初は手の指が腫れぼったくなり、まるでソーセージのように見えることがあります。その後、次第に指が硬化してきてしわがなくなり光沢を帯びてきます。明らかに皮膚が硬くなる場合もあれば、つまみにくいという程度の時もあります。硬化は指から腕、胸部と体の中心に向かって広がっていきます。5〜6

年のうちに顔にも及び、顔が突っ張った感じがして口が大きく開けられないようになります。一方では、硬化が指や手の甲だけで止まってしまう限局型の全身性強皮症の

人もいます。ひじなどの関節部分の皮膚が硬化すると、屈伸が制限されて運動に障害が出ます。血管障害では、レイノー症状があります。これは全身性エリテマトーデスでもみられますが、強皮症ではほとんどの人にみられる症状です。寒い日に寒冷刺激で指が白くなり、時には紫色になります。暖めると数分で元に戻ります。手の指や足のかかとの血行障害が起きて傷が治りにくくなったり小さな潰瘍ができることがあります。

また多発性の関節炎を起こすこともあります。全身性強皮症では皮膚だけではなく内臓の線維化も起きます。食道が線維化して動きが悪くなり、水や食べ物を通りにくくなります。そうすると胃酸が食道に逆流して胸焼けなどの症状が出ます（逆流性食道炎）。腸に起きると下痢や便秘になります。心臓に起きると不整脈が出たり、強皮症腎になると急に高血圧になり腎機能障害が現れたりします。間

質性肺炎になると、歩行時息切れや空咳が出て、長い間にはまれに肺高血圧症になることがあります。・・・・・・・・・・・・・・・・

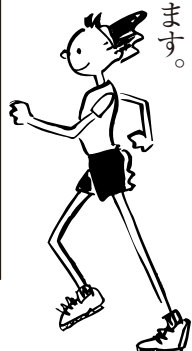
注2 西洋医学による強皮症の治療法（Yahooヘルスケア 家庭の医学より）

膠原病の多くはステロイド治療が有効で基本的な治療になります。が、残念ながら強皮症ではあまり有効な治療はありません。皮膚硬化に対しては、D・ペニシラミンが有効なことがあります。少量のステロイドを使うこともあります。

レイノー症状がひどい場合や指や趾の血行障害がある時は、プロス

タグランディン製剤や血管拡張剤を使います。関節炎には非ステロイド系抗炎症剤（NSAID）が使われます。食道の運動不全による逆流性食道炎には胃酸を抑えるプロトンポンプ阻害薬を、強皮症腎による高血圧症にはACE阻害薬という降圧剤が使われます。間

質性肺炎が重症化すると、ステロイドパルス療法やエンドキサンといった免疫抑制剤による治療を行うことがあります。強皮症腎や重症の間質性肺炎では入院治療が必要になります。



SOD様作用食品 体験者の声をお聞かせ下さい。

難病で苦しむ方たちが、少しでも早く良い治療法に行き当たるように、本誌では愛飲者の声を募集しています。お手数ですが、

〒154-0012 東京都 世田谷区
駒沢 5-13-1-205

日本SOD研究会 藤沢宛

TEL 03-5787-3498

までご一報ください。

SOD様作用食品とは・ 丹羽博士の開発

SODとは、スーパーオキシド・デイスムターゼの頭文字をとったもので「活性酸素」を取り除く「酵素」のことです。

最近、健康の力を握る物質として「活性酸素」と「SOD」の働きと役割がクローズアップされてきました。そして、活性酸素が体内に増加すると、がんや成人病など、さまざまな疾病を引き起こすことが明らかになってきました。

体内に活性酸素が増えても、本来、人間や動物には余分な活性酸素を取り除くSODという酵素が



存在していて、病気を防ぎ、身体の健康を守ってくれます。ところが、現代社会の弊害（公害、薬害、食品添加物の害）などが、活性酸素を暴走させていて、体内のSODだけでは追いつかなくなっています。

しかし、残念なことにSODという酵素は分子量が大きいため、内服しても胃で破壊され、腸から吸収されませんでした。それを、内服できるように研究されたのが丹羽SOD様作用食品です。

開発した丹羽鞠負（耕三）医学

博士は、京都大学医学部を卒業し、医学博士として数々の研究が注目を集めていたときにご子息を白血病で亡くされ、それをキッカケにSODの研究を始めました。副作用がまったくないがん治療薬がテーマでした。開発には実に二十年もの歳月が必要でした。

「活性酸素をはじめとする免疫学の研究を通して私が知った、自然の摂理」は、私に大自然のメカニズムの精微さと人間の自己治癒力の偉大さを教えてくれました。病気は自分が治すもの。私は、この理想を患者さんの誰もが実現できるように医師の立場から最大限の努力を続けています」

先生は今も、土佐清水病院院長として、毎日、医療の現場でがん、アトピー、膠原病などの難病に苦しむ患者さん達の治療にあたっています。また、SODなどを始めとする論文は海外でも高い評価を得、日本のみならず海外の学会で講演をしたり、大学病院で特別講演をしたりと、多忙な日々を送っています。

幸いなことに最近、西洋医療と東洋医療などを統合した医療へと世の中の流れが向かっています。代替医療に対する関心や認識も高まり、丹羽博士が40年も前から言っていた、本当の意味での人を診る診療の時代です。

この会報は、そんな丹羽博士の志を受け、誰もが自分の力で健康でいられるように、難病で苦しむ方が少しでもなくなるようにとの願いを込めたものです。

丹羽療法を知る一冊

◆ブックガイド◆

「がん治療 究極の選択」

講談社

「丹羽SOD様作用食品摂取者の体験報告」日本SOD研究会

「丹羽博士の正しいアトピーの知識」

廣済堂

「天然SOD製剤がガン治療に革命を起こす」

廣済堂

「白血病の息子が教えてくれた 医者の心」

草思社

「安心の医療・本当の健康」

みき書房

「クスリで病気は治らない」

みき書房

「医は仁術なり」

至知出版

「丹羽療法全国のアトピー患者が信頼するこれだけの理由」

リヨン社

「SOD様作用食品の効果」

小冊子

